

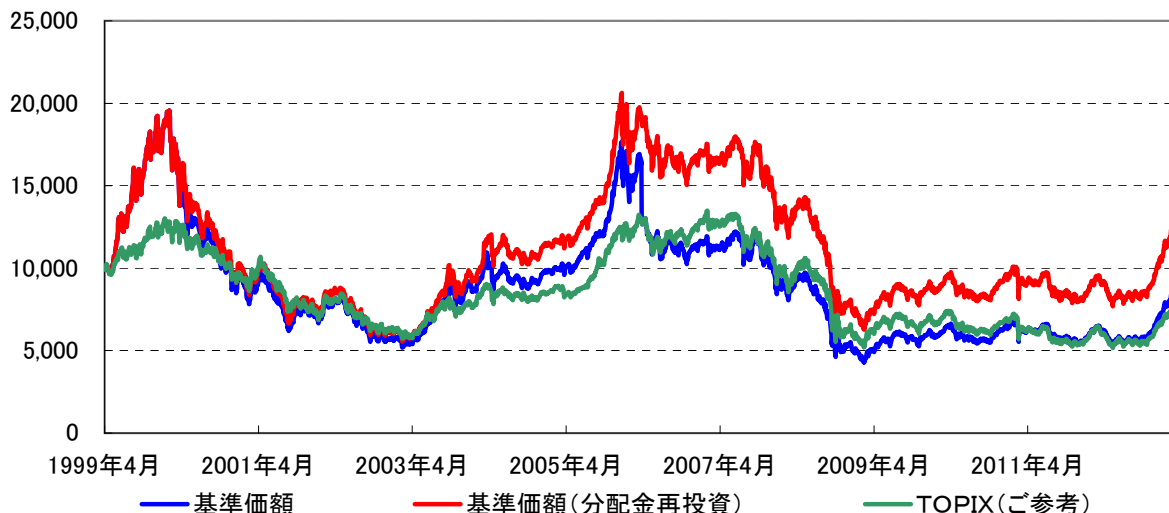


「三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】」の  
運用状況と今後の運用方針

追加型投信／国内／株式

基準価額の推移 (期間:1999年4月28日(設定日)～2013年4月19日)

- ◆設定来の当ファンドの基準価額(分配金再投資)の動きを見てみると、ITバブル崩壊やサブプライムローン問題を契機とした金融危機を受けて景気と企業業績が悪化した局面では大きく値下がりしました。
- ◆一方、設定直後から2000年3月、2003年から2005年の期間は、株式市場が活況となる中でボトムアップリサーチによる銘柄選択が奏功し、株式市場(東証株価指数(TOPIX))を大きく上回るパフォーマンスとなりました。
- ◆足下の株式市場はいわゆる「アベノミクス」に対する期待から上昇基調となっています。この投資環境の下、当ファンドの銘柄選択は奏功しており、組み入れている銘柄の中には2012年11月の野田首相(当時)の衆議院解散表明以降に株価が2倍以上になった銘柄があります(次ページ参照)。当ファンドは今般の株価上昇局面でもTOPIXを上回るパフォーマンスとなっています。



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・TOPIXは設定日を10,000として指数化し、参考までに記載しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.6275%(税抜1.55%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

TOPIXは、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。  
TOPIXとは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

騰落率 (2013年4月19日現在)

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	11.10%	32.38%	65.27%	54.07%	49.97%	41.67%
TOPIX	7.72%	23.61%	49.35%	38.39%	16.05%	-16.40%
差	3.38%	8.76%	15.92%	15.68%	33.92%	58.07%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・TOPIXの騰落率は、参考までに記載しています。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**組入上位15銘柄の騰落率 (組入銘柄および比率は2013年3月29日現在)**

(組入銘柄数: 73銘柄)

銘柄	業種	比率	株価		
			2012年11月14日	2013年4月19日	騰落率
1 朝日インテック	精密機器	4.43%	¥2,402	¥5,820	142.30%
2 エムスリー	サービス業	4.24%	¥149,800	¥210,500	40.52%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.86%	¥345	¥643	86.38%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.26%	¥2,369	¥4,395	85.52%
5 三菱地所	不動産業	3.26%	¥1,561	¥3,205	105.32%
6 トヨタ自動車	輸送用機器	2.90%	¥3,060	¥5,480	79.08%
7 コマツ	機械	2.88%	¥1,665	¥2,488	49.43%
8 村田製作所	電気機器	2.78%	¥3,965	¥7,820	97.23%
9 マツダ	輸送用機器	2.58%	¥107	¥320	199.07%
10 ホンダ	輸送用機器	2.37%	¥2,345	¥3,850	64.18%
11 東京建物	不動産業	2.36%	¥320	¥973	204.06%
12 東芝	電気機器	2.26%	¥265	¥528	99.25%
13 岡三証券グループ	証券、商品先物取引業	2.19%	¥316	¥1,162	267.72%
14 安川電機	電気機器	1.98%	¥570	¥1,046	83.51%
15 ディー・エヌ・エー	サービス業	1.92%	¥2,576	¥2,749	6.72%
(ご参考) TOPIX	-	-	722.41	1,126.67	55.96%

- ・組入銘柄と組入比率は、2013年3月29日現在のものです。2012年11月14日に上記のすべての銘柄を組み入れていたわけではありません。
- ・比率は純資産額に対する割合です。
- ・上記表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

**規模別組入比率 (2013年3月29日現在)**

時価総額規模		①ファンド (%)	②TOPIX (%)	①-② (%)
超大型	(1兆円以上)	46.92	51.75	-4.83
大型	(3000億円以上1兆円未満)	18.01	23.99	-5.98
中型	(1000億円以上3000億円未満)	22.69	13.77	8.91
小型	(1000億円未満)	12.38	10.48	1.90
合計		100.00	100.00	-

- ・上記は三菱UFJ投信が分類したものであり、東京証券取引所による分類とは異なります。
- ・上記表は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

(出所)東京証券取引所のデータより三菱UFJ投信作成

**今後の運用方針**

- ◆当面の国内株式市況は、短期的な調整をはさむ可能性はあるものの、政府と日本銀行の連携による金融緩和、財政出動、成長戦略の実行に伴う2014年3月期以降の業績期待などを背景に、引き続き堅調な展開を示すと予想しています。
- ◆こうした中、個別事業内容などから見て各種経済政策の恩恵、円高是正による競争力上昇を背景とした販売増や為替の業績への感応度なども考慮し、今後の業績拡大余地の高い銘柄に注目します。また、中長期的な成長が見込める中小型企業にも積極的に投資する方針です。今後も、短期的な株価変動に左右されることなく、企業業績の成長性とバリュエーションの観点から投資企業を選択します。

- ・上記見通しのない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**組入銘柄のご紹介**
**【朝日インテック】**

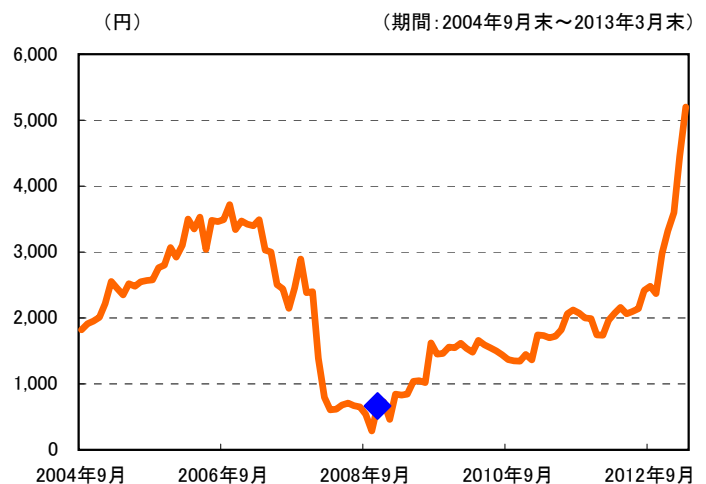
医療用器具などの製造および販売を行う。PTCA(狭心症や心筋梗塞などの治療の際、外科手術によることなく患者の負担を最小限に抑える低侵襲治療)を行なう際に使用されるガイドワイヤーが主力製品。

**【独自性】**

・4つのテクノロジー①高精度の「伸線技術」、②強さと柔軟性を燃る「ワイヤーフォーミング」技術、③優れた回転追従性を生み出す「トルク技術」、④血管内での滑り性を高める「コーティング技術」を核としたPTCAガイドワイヤー。

**【事業規模拡大のポテンシャル】**

・国内販売を2012年から自販化、欧州は競合製品を持つアポット社との契約を打ち切り2011年6月から現地代理店を活用しての販売に切り替え売上拡大中。中国も順調に拡大。  
・2014年6月期にはPTCAバルーンカテーテル「KAMUI」の業績寄与を期待。

**■ 株価の推移**


・上記グラフの青い四角は当ファンドへの組み入れ時期を示しております。

**【エムスリー】**

医療従事者向けの情報提供サイト「MR君」を運営。治験支援も手掛ける。

**【成長を支える組織】**

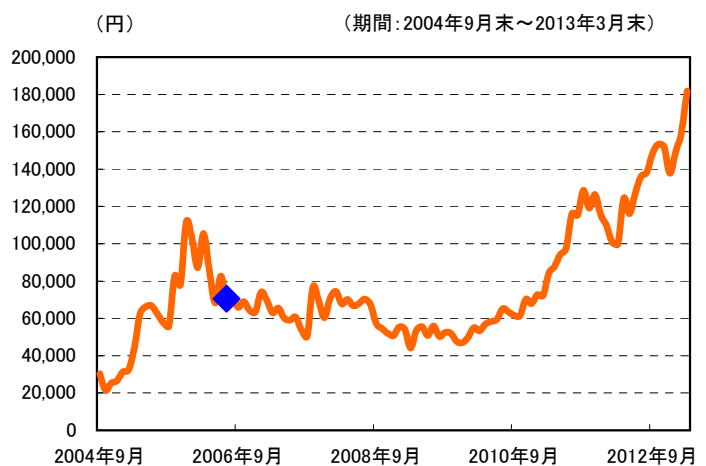
・コンサルティング会社でソニーのヘルスケア事業戦略を立案していたチームが、それを実行に移すため、谷村格氏(現社長)を中心に2000年に起業。

・経営陣の事業アイデアが豊富で、これらのアイデアを実行し、収益につなげる行動力を持つ。うまくいかない時は、素早く対策を講じ、事態を回復させるなど、経営判断が迅速。

**【効率性を損なわない成長】**

・国内医師の8割が「MR君」に登録していることを背景に、医薬品の臨床試験や転職紹介事業を提携した企業と展開。

・医療には無駄が多いと考える当社は、ヘルスケアの「e化(電子化)」をインターネットなどを使って事業展開し、高いROEを実現。

**■ 株価の推移**


・上記グラフの青い四角は当ファンドへの組み入れ時期を示しております。

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

- ・上記の個別銘柄および情報は、理解を深めていただくためにご紹介するものであり、特定の銘柄の推奨あるいは証券売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・上記各グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・上記見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ・上記各グラフはエムスリーの株価が取得可能な時期から表示しております。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**ファンドの目的・特色**
**■ファンドの目的**

わが国の株式を主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により、長期的に安定した値上がり益の獲得をめざします。

**■ファンドの特色**

「ブルーム」の運用手法…足と頭を使って、スマートな成長を実現する方程式を見出すことをめざします。

**銘柄選定の主な観点**

- ・成長の基盤: 企業の成長のインフラ(基盤)、事業のストラクチャーを見極めます。
- ・スマートな成長: 成長に根拠や計算があるかどうかを見極めます。
- ・成長のファクター: 成長のファクターが明確であるかを見極めます。

**<主な投資制限>**

- ・株式への投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

**<分配方針>**

- ・年1回の決算時(4月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**投資リスク**
**■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**
**(価格変動リスク)**

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

**■その他の留意点**

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

**■リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用…三菱UFJ投信株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

**三菱UFJ 日本成長株オープン【愛称:ブルーム】**
**手続・手数料等**
**■お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1万口単位または1口単位 販売会社の取扱いにより単位が異なります。／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。 なお、1億口または1億円以上の換金のお申込みについては正午までをお願いします。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(1999年4月28日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**■ファンドの費用・税金**
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**
**お客さまが直接的に負担する費用**

購入時	
購入時手数料	購入価額× <b>2.625%(税抜 2.5%)</b> (上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額× <b>0.3%</b>

**お客さまが信託財産で間接的に負担する費用**

保有期間中	
運用管理費用(信託報酬)	純資産総額× <b>年1.6275%(税抜 年1.55%)</b>
その他の費用・手数料	売買委託手数料等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。

その他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り、)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

 お客さま専用  
 フリーダイヤル  **0120-151034**  
 受付時間／9:00~17:00 (土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

 <オフィシャルサイト> <http://www.am.muam.jp/>  
 <モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
 基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)


## 販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ 日本成長株オープン

商号	登録番号等	加入協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号	日本証券業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(*)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

※商号欄に(\*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。